

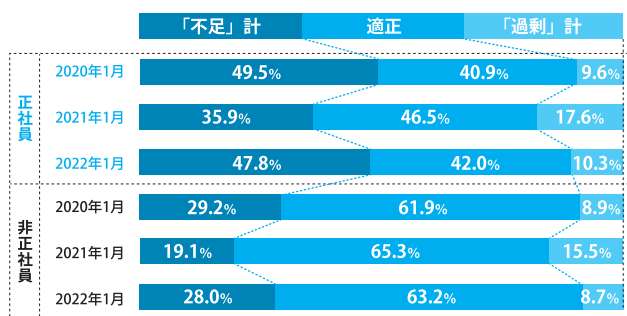
## ■ 外部寄稿 DXははじめの一歩

## コロナ禍で変えざるを得なくなった中小企業の組織運営や人材活用 ～それを実現・成功させるfactor Xとは～

株式会社ネオジャパン クラウド営業部 係長 遠藤 和也 氏

### 1. 避けて通れなくなった中小企業のIT化

中小企業には、現在進行形の解決すべき重要な課題が2つあると考えています。1つ目は、少子高齢化による人材不足への対応です。そして2つ目は、コロナ禍によるニューノーマル時代に対応した働き方（ワークスタイル）を早期に確立することです。



(株)帝国データバンク 人手不足に対する企業の動向調査(2022年1月)

1つ目の人材不足への対応については、採用強化という手段がありますが、生産年齢人口が減少する中では限界があるため、採用の強化とあわせて、現状の人材（人数）のままでも全体の生産性を上げていく方策が必要となります。

2つ目のニューノーマル時代に対応したワークスタイルの確立については、これまでのように従業員が1つの場所に集まって一緒に仕事をするという働き方が主流ではなくなるため、自宅やカフェ、コワーキングスペースなどの場所を選ばない働き方の実現に向けた対策が必要となります。

コロナショックは、テレワークが一気に普及するきっかけになりました。中小企業にとっても、このコロナショックは人材不足と働き方改革という2つの難題を解決するタイミングと捉えることができ、そのためにはITの活用が不可欠です。

しかし、ITを活用するといっても、どこから手を付ければよいのか分からないという方が多いのが実情です。そこで、ニューノーマル時代のIT化としてもっともポピュラーな「ペーパーレス」と「テレワーク」に着目しながら、中小企業のIT活用例について紹介していきます。

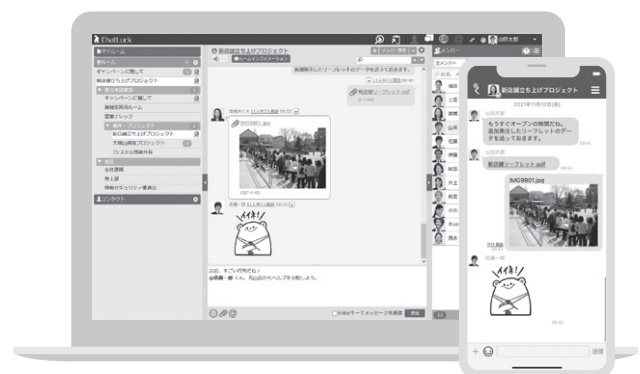
### 2. 手軽にペーパーレスやテレワークを実現できる中小企業向けITツール

企業がIT化を進める際の第一歩といわれているのが「グループウェア」の導入です。当社では、20年以上前にグループウェア「desknet's NEO（デスクネッツ ネオ）」を開発・販売、現在まで改良を重ねながら、2022年1月時点、累計462万人ものユーザー様にご利用いただいています。



グループウェア「desknet's NEO（デスクネッツ ネオ）」

また、近年ではコミュニケーションを効率化するビジネスチャット「ChatLuck（チャットラック）」や、業務のシステム化を実現する「AppSuite（アップスイート）」なども開発・販売することで、中小企業のIT化を支援してきました。



セキュアなビジネスチャット「ChatLuck（チャットラック）」



業務アプリ作成ツール「AppSuite(アップスイート)」のおすすめアプリ

さらに、「desknet's NEO (デスクネッツ ネオ)」では、テレワーク時代にいち早く対応し、テレワークを効率化するための新機能も提供しています。新しく搭載された「プレゼンス」機能により、全社・組織・個人のテレワーク状況をかんたんに把握することができます。



「desknet's NEO (デスクネッツ ネオ)」のプレゼンス機能

**QRコードからデスクネッツ ネオ、プレゼンス機能の動画をご覧ください**

デスクネッツ ネオ  
紹介動画



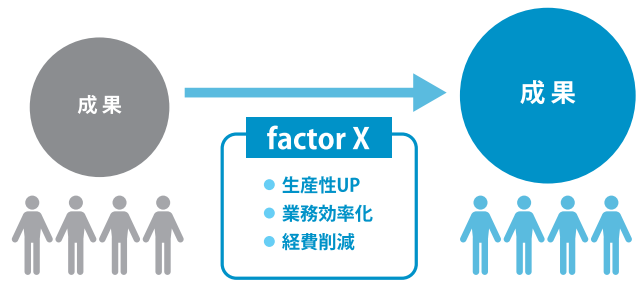
プレゼンス機能  
紹介動画



当社製品は中小企業での導入実績も多く、IT化の成功事例となっている例が少なくありません。また、つくば市役所をはじめ、茨城県内の行政機関や企業、団体で多数導入いただいています。

### 3. IT化で生産性を上げるための「factor X」とは？

当社は多くの企業等のIT化をサポートしてきましたが、その成功例の中には共通項 (factor X) があることに気づきました。IT化で成功を収めている企業では、この「factor X」を上手に見つけて、対応していたのです。



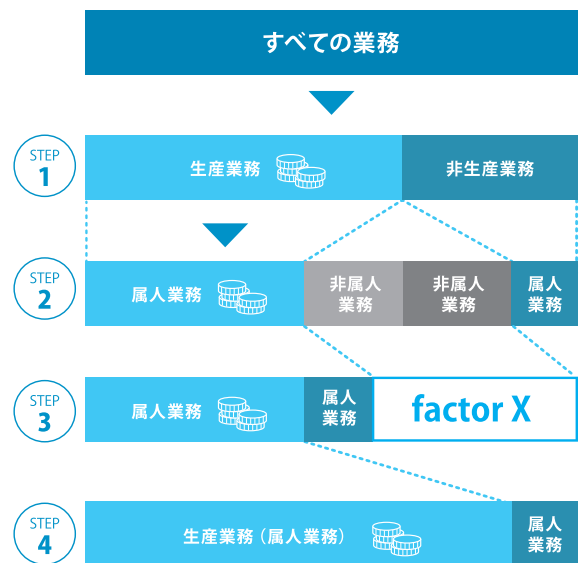
成功例にある共通項 (factor X) とは

「factor X」とは具体的にどのようなもののでしょうか？ それは業務全体を棚卸しすることで見えてきます。

すべての業務は、売上や利益を上げるための生産業務とそれ以外の非生産業務に二分することができます。そして、それぞれの業務には人間が対応しなければならない属人業務と、自動化やアウトソーシングが可能な非属人業務が含まれています。

たとえば、生産業務においては、販路拡大やマーケティング、商品開発ではほとんどが属人業務ですが、営業事務には非属人業務が多く含まれています。また、非生産業務においては、人事・採用や労務管理が属人業務、勤怠管理や給与計算は非属人業務に分類できます。

「factor X」とは、これらの非属人業務のことで、ITによって自動化・省力化することができる部分です。この「factor X」をIT化することにより、生産業務により多くの人材や時間を投入することが可能となり、販路拡大や新商品の開発など、その企業が本来行うべき属人業務に注力する体制が実現できるのです。



factor XのIT化による生産性向上ステップ

### 4. factor XのIT化で、多くの成功例が生まれている

ここからは、数多くある成功例の中から、いくつか具体例をご紹介します。

## factor X ①「ペーパーレス」

企業が業務を行う際について回るのが「紙の書類」です。稟議書や各種申請書、伝票などが、営業担当者から事務担当者、事務担当者から決裁者などへと、毎日、大量の紙が社内を行き交っています。

こうした中、プリンターやコピー機のトナーを開発・製造・販売している㈱アイメックスでは、業務のシステム化ツール「AppSuite (アップスイート)」を導入し、90%のペーパーレス化を実現しました。

## factor X ②「電子回覧」

紙の資料は情報共有にも利用されますが、ある公益財団法人では、グループウェア「desknet's NEO (デスクネッツ ネオ)」を活用し、複数拠点での確実な情報共有・情報活用を実現しています。また、ペーパーレス化して回覧することにより、申請や承認といった決裁の手間も大幅に削減しています。

## factor X ③「電子申請」

ある複数の拠点を持つ医療法人では、すべての決裁作業を本部で行っていました。そのため、書類の配送や決裁者の出張などによる決裁時間のロスが問題となっていました。そこで、グループウェア「desknet's NEO (デスクネッツ ネオ)」のワークフロー機能を活用した電子申請の導入により、書類の移動を無くし、決裁者は外出先でも承認できるようになりました。このように、ペーパーレス化は、紙の使用量削減だけでなく決裁スピードの向上にも役立っています。

また、㈱大阪水道総合サービスでは、3万件の勤怠申請の処理に要する時間を約3,500時間削減したほか、IT企業の㈱システムアプローチでは、経費計算やスケジュール管理にグループウェア「desknet's NEO (デスクネッツ ネオ)」を導入したことで、短期間のうちに残業時間3割削減を実現しています。

## factor X ④「コミュニケーション」

テレワークについても、多くの成功例をご紹介します。ここでのfactor Xは、コミュニケーションの仕方といえるでしょう。

テレワークを導入する際には、社員同士のコミュニケーションが課題となりますが、ビジネスチャット「ChatLuck (チャットラック)」は、効率的でスムーズなコミュニケーションを実現します。

たとえば、コロナ感染対策で急遽テレワークを導入したものの、全社員との連絡手段がメールしかなく時間がかかっていた企業がありました。そこで、パソコン・スマホ上でリアルタイムな会話ができる「ChatLuck (チャットラック)」を導入したところ、コミュニケーションの質が向上し、業務効率化や生産性アップにつながりました。また、コンサルティ

ング業などを営む㈱バルーンでは、お客様とのコミュニケーションにも「ChatLuck (チャットラック)」を利用したところ、売り上げが20%以上アップしたうえ、サービスに対する顧客の評価も向上しました。

### factor XのIT化成功例

アップスイートで

## 90%のペーパーレス化

ワークフローで

## 残業時間3割削減

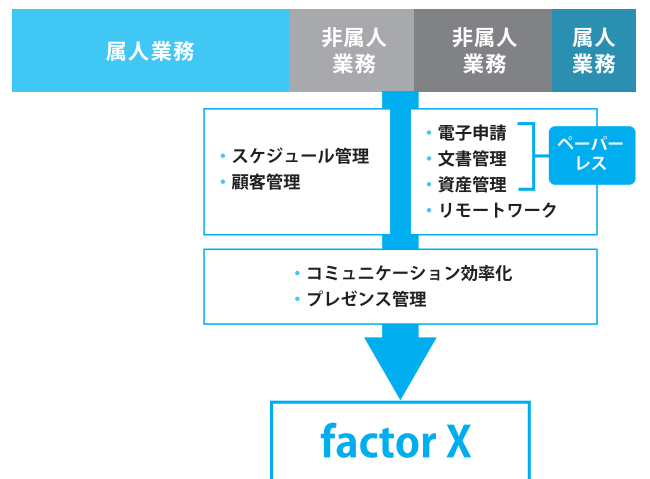
チャットラックで

## 売上を20%UP

導入事例一覧はこちら



そのほか、ITインフラなどの導入・開発・保守業務を営む㈱ラデックスでは、「desknet's NEO (デスクネッツ ネオ)」の導入により、テレワーク実施ゼロの状態から社員9割超がテレワークを実施する状態へと、ワークスタイルの大変革に成功しています。



factor Xに対する㈱ネオジャパンのソリューション

## 5. 中小企業のIT化をトータルでサポート

各企業の状況をよく把握している筑波銀行を通じて、当社が中小企業のIT化をトータルでサポートすることで、地域の活性化・課題解決にも貢献していけると確信しています。

㈱ネオジャパンは筑波銀行と連携し、中小企業のIT化を実現する製品とサービスを提供していきます。今回ご紹介したITツールについてご関心のある方は、お取引のある筑波銀行営業店にお声かけ下さい。